

# 「今昔物語」25回。これまでの歩みが 伝えた大崎、キラ星の歴史遺産たち

過去から現在、未来へと受け継がれていく「ふるさと大崎」のDNA（原風景）を訪ねる『おさき今昔物語』。

その第三十五話は、「大崎今昔物語」掲載25回を迎えて振り返る、大崎の豊かな歴史遺産の数々。あらためて知る“ふるさと大崎”が紡いできた歴史の重みや多様な郷土の資産、興味深い歴史ストーリーなど、キラ星のように輝く歴史的事実は、“ものづくりと文化の副都心・大崎”の礎ともなって、私達にその豊かな価値を伝えています。

古くは江戸幕府の保養地として、また明治の頃には殖産興業化始動の地としてあった大崎。  
その歴史的存在感と併せた郷土の豊かな営みが、ここに明されます。



大崎から飛んだ飛行船



大崎の一大植物園「妙華園」



1 大崎は、日本初の飛行船が生まれ、飛んだまち



2 大崎は、茶苑の“一大テーマパーク”が存在したまち



3 大崎は、ワシントンの桜と緑のある一大植物園があったまち



4 このまちで始まった近代工業への歩み。日本初の洋式ガラス工場



5 国産初の大型オートバイ“伝説の陸王”はこの地から



6 カボチャも、シクラメンも、“農作と植物栽培の地”大崎から



7 お店と活気と、人の温もりに溢れた『百反坂』



8 ものづくりのまち、ふるさと大崎の心をつなぐ学舎、『芳水小学校』



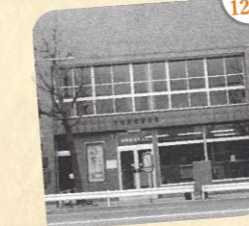
9 豊かな恵みの水に育まれてきた“水辺の郷土”大崎



10 名僧沢庵が智を説き、生涯を閉じた地、大崎



11 <我がまちメディア座談会>大崎の人・まち・昔が見えてくる



12 この年、100年目。大崎の暮らしとまちの発展を支え続けた『駅前郵便局』



13 大崎の今と昔、このまちの様々な姿を知る展示会を案内



14 江戸時代の盛衰に関わり続けた桜の名所『御殿山』



15 鉄道の「歴史」と「未来」の巡り合いがここから。“鉄道の父”眠る大崎から



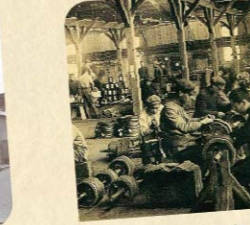
16 400年超の歴史を宿す大崎の鎮守、居木神社が伝える“温故知新”



17 “地域の幸福”を支え続けた「小原哲学」のふるさと、大崎から



18 “大崎発展”への始発駅、山手線大崎駅ストーリー



19 ものづくり120年の歴史の大半を、大崎と共に築いた『明電舎』



20 ものづくり100年の歴史に輝く、大崎発展の担い手『NSK』



21 「しながわ夢さん橋」30回目の歩みもたらしたもの



22 30年前、大崎のまちに生まれた“もう一つのキラ星”『トット文化館』



23 人とまちの成長を見守り続けた“心のふるさと”『大崎幼稚園』



24 音響の戦後復興を担い、大崎の地で日本製スピーカーの歴史を紡いだ『アシダボックス』

ものづくりのまちの先駆けともなった、日本初の飛行船製造の地。遡れば、松平家下屋敷の一大茶苑が広がる「文化発祥地」でもあった大崎。さらに名僧沢庵が生涯を閉じた地など、認識を新たにする歴史や、コミュニティの中にきらめく史実も、「おさき今昔物語」が伝えたテーマです。

私達が暮らす大崎のまちには、発展するまちの姿に隠れて見えなかった「知られざる歴史の真実」がいくつかあります。大崎今昔物語を通じて、大崎の原風景を成していた郷土の姿や人の営みに焦点を当てることで、このまちの今と未来を考える縁（よすが）となれば幸いです。

これまでの歩みを辿る  
“今昔物語アーカイブ”  
『大崎今昔物語展』を  
O美術館にて開催！



【入場料無料、どなたもお気軽にお越しください。】  
■展示会場：O美術館（大崎ニューシティ2号館 2F）  
■展示期間：10/6（土）・7（日）・8（祝）11:00～16:00  
※O美術館の詳細についてはO美術館公式サイトへ O美術館



「大崎今昔物語」で紹介したこれまでの内容はホームページにてご覧頂けます。(http://www.ohsaki-area.or.jp/townguide/konjyaku/)